

## アンゴラ情勢報告（2013年9月）

（本情勢報告は、当館が報道などによる情報を取りまとめたものです<sup>1</sup>。）

### 主な出来事

- 出生証明書及び身分証明書発行手数料の無償化（2016年まで）
- アンゴラ・ビジネスセミナーの東京開催
- 中国・アンゴラによる二国間犯罪引渡し条約の調印
- マヌエル・ヴィセンテ副大統領による国連総会一般演説

### 【内政】

**出生証明書と身分証明書の無償化**：これまで出生証明書と身分証明書の発行に手数料がかかっていたが、大統領令により、同料金が今後3年間（2016年まで）免除されることとなった。法務省によると、より多くの国民が登録を行うことで住民数を把握し、公共サービスの効率化に役立てることを目的としている。また、マリア・ドス・サントス人権法務副大臣によると、2015年までに54の地域で登記所（loja de registos）を開設し、国民に対して法制度をより身近なものとするを目指している。（JA）

**UNITA 青年局長による汚職疑惑**：ムゼンバ・UNITA 青年局長が、①MPLA メンバーから、若者による反政府運動を押さえ込むための協力資金（賄賂）を受け取った疑い、②一般ポルトガル人に対して UNITA の名前を利用し、金銭と引き替えに査証取得の違法援助を行った疑いで告発された。2010年の UNITA 青年局長選挙によって当選したムゼンバ氏は上記汚職疑惑を全面否定しているにもかかわらず、UNITA は同氏の党員としての活動を24ヶ月停止させる処分を下した。これには、サマクヴァ・UNITA 党首の反汚職という強いメッセージが含まれていると見られる。（EIU, JA）

**労働法の改定議論**：地元メディアによると、アンゴラ政府は労働法の改定を議論しており、具体的には「冠婚葬祭の休暇取得可能日数を減らす」、「30%の賃金カットを認める」、「病気になる労働者への賃金保障を減らす」、「週44時間労働（土曜含む）を可能とする」等の改定が検討されている。アンゴラ政府は同法改定により、新たな雇用と企業の競争力を生み出すことを試算している。なお、アンゴラの労働法は労働者の労働賃金規定や社会保障に関して、雇用者にとって難しい問題となっている。例えば、労働者の質が悪くても労働賃金が高く設定されており、また手厚い社会保障が受けられるようになっている。（EIU）

<sup>1</sup> EIU: Economist Intelligence Unit, JA: Jornal de Angola, SE: Semanário Económico

**新関税法の導入**：2014年1月から、国内産業の育成・保護（特に食料分野）を目的とした新関税法が施行される。これは脱石油依存型経済を見据え、労働生産性の改善、市場競争の促進、雇用機会の増大効果を狙って導入される。(JA)

**デモの発生**：19日、首都ルアンダにて「アンゴラ革命運動」と称するグループが、大統領による長期政権の終了及び石油天然資源資産の平等分配を訴えて小規模のデモ（参加者20数名）を行った。このデモを受け、2000名の武装警官が出動し、デモ参加者20名以上が逮捕・抑留された。(EIU)

**2013-2017年の国家プロジェクト**：26日、コスタ大統領府大臣は、2013-2017年に継続的な経済成長と国民に対する電力普及率を高めるため、2.3兆クワンザの投資を行う旨発表した。(JA)

**識字率**：アンゴラは識字率が低く、特に、地方農村部に住む女性の多くは読み書きができない状態にある。8日、ユネスコの定める「国際識字デー」にあわせて、シマン教育大臣は識字率の向上が教育分野の最優先事項であること、そして政府が同問題に立ち向かっていくことを述べた。(JA)

**ソヨ石油精製所建設計画**：ヴィセンテ副大統領は内閣実体経済委員会を開き、ソヨ市内における石油精製所建設計画に関する前期報告書を評価・審議した。(JA)

**新法令案**：25日、閣僚会議が行われ、男女間の平等・均衡を目的とした大統領令を制定することを決定した。(JA)

(地方)

#### **クアンド・クバンゴ州**

・第1回クアンド・クバンゴ・経済フォーラムが開催された。カルネイロ州知事は国内外の実業家を招き、同州への投資を呼びかけた。また、2013-2017年の同州開発計画について議論され、人材資源・天然資源・インフラ・農業・観光産業・林業の活性化に焦点が当てられた。(JA)

・23日、メノンゲ市にあるクエーニャ将軍空港において、夜間飛行のためのインフラが敷設され、今後、評価機関のテストを経て、同空港における夜間飛行が可能となる。(JA)

・首都メノンゲから400キロ離れた都市クアングルでは、水不足による干ばつ被害が拡大し、3万4000人以上の実生活に深刻な影響を及ぼしている。このため、同市市長は国に援助要請を行った。また、これらアンゴラ南部の干ばつ被害に対し、タティ農業副大臣は、政府として干ばつ被害に立ち向かうため、ダム、排水施設、灌漑水路等の建設を検討していると述べた。(JA)

**ナミベ州**：6日、ユーリ・ガガーリン空港が開港され、10日にコスタ大統領府大臣、ト

マス運輸大臣出席の下、開港式が行われた。また、9月20日に開催されたローラーホッケー世界大会に合わせて、ホテル・観光省が事業主であるインフォルトウル・ホテルがオープンした。(JA)

**モシコ州**：モシコ州政府とコンゴ民主共和国のカタンガ州政府は、国境策定及び治安維持のための小委員会を創設することに合意した。(JA)

**ルアンダ州**：18日、EPALがカゼンダ市アゴスティーニョ・ネット地区に上下水道を設備した。この水道設備により、同地区在住の約1000人の住民に対して、新たに水が供給されることとなった。(JA)

### 【外政】

**日本・アンゴラ関係**：4日、ケイロス地質鉱山大臣が訪日し、東京で開催されたアンゴラ・ビジネスセミナーにおいて、アンゴラ鉱山分野に対する日本企業の投資を促すための講演を行った。また同地質鉱山大臣は、独立行政法人石油ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）との間で、リモートセンサー技術と地理情報システム（GIS）を活用した衛星画像解析共同調査に関する協力文書に署名した。これには、鉱山資源分野における関係強化、日本企業による投資促進、アンゴラ地質研究所技術者への衛星画像解析技術の移転が盛り込まれている。(JA)

**中国・アンゴラ関係**：16～18日、シコティ外務大臣は中国を訪問し、中国・アンゴラ二国間における犯罪人引渡し条約に調印した。また同訪問中に、農業、漁業、装飾石の採掘等、新たな分野の協力関係についても話し合いを行った。(JA)

**ベトナム・アンゴラ関係**：8日、ルアンダにて、ミン・ベトナム外務大臣がヴィセンテ副大統領を訪問し、農業、教育、商業、建設及び投資等の分野における二国間協力の継続・促進についての具体的な方策を話し合った。(JA)

**ミャンマー・アンゴラ関係**：19日、ニューヨークにて、ミャンマーとアンゴラの両国連大使が外交関係樹立文書に調印した。アンゴラはミャンマーからの農作物の輸入を期待している。両国は石油、天然ガス、ダイヤモンド等共通の輸出品を持つ。(JA)

**ロシア・アンゴラ関係**：ピエダーデ・ドス・サントス国会議長がロシアを訪問し、両国の協力関係について話し合いを行った。同会談において、ドンスコイ・ロシア天然資源大臣が、アンゴラ・ロシア二国間での条約履行のための基本法設立（特にアンゴラの鉱物資源の輸出に関して）を要求した。(JA)

**ポルトガル・アンゴラ関係**：2～4日にかけて、シコティ外務大臣がポルトガルを訪問し、マシェッテ・ポルトガル外務大臣及びコエーリョ・ポルトガル首相と会談した。同会談の中でシコティ大臣は、来年行われる2016-2017年期・国連安保理非常任理事国選挙

へのアンゴラ立候補に対するポルトガルの支持を要請し、ポルトガルは同支持要請を承認した。(JA)

#### フランス・アンゴラ関係

・ピエダーデ・ドス・サントス国会議長は、25日、ルアンダを訪問したルフェーブル・フランス上院議員と会談し、二国間で経済・文化・教育分野で協力を進めていくことについて話合った。

・ウイジ、クアンド・クバンゴ、ザイレ、ベンゴ州の州知事等はフランス企業運動 (MEDEF) の本部を訪れ、同地域の観光業、農業、加工産業、電力業、公共事業についてプレゼンテーションを行った。これはフランス企業のアンゴラ進出を促す事を目的として行われた。(JA)

【クロアチア・アンゴラ関係】：25日、ニューヨークにて、シコティ外務大臣はプシッチ・クロアチア外務大臣と会談し、クロアチアが近くルアンダに在外公館を置くことを考えている旨相談を受けた。また、シコティ外務大臣は、2014年に両国間の経済フォーラムを開催することを発表した。(JA)

【ナミビア・アンゴラ関係】：23日、ガインコブ・ナミビア首相はドス・サントス大統領を私的訪問した。同氏はメディアのインタビューには応じなかったが、昨年7月に調印した石油・天然ガスの協定について話し合ったと推測される。(JA)

【国連総会】：27日、マヌエル・ヴィセンテ副大統領は第68回国連総会にて一般演説を行い、国連改革の重要性（特に安保理改革）、平和の維持・国際協調の継続、キューバへの経済制裁等について言及した。安保理に関しては、時代の趨勢及び地域間の平等を考慮し、安保理常任理事国にアフリカ代表を加えるように提言した。また、キューバに対する経済制裁に関しては、同措置が国際法に違反し、キューバの発展及び国民生活の向上を妨げる旨唱え、同制裁の終了を訴えた。(JA, SE)

#### 【文化スポーツ・その他】

##### スポーツその他

・9月20日から28日にかけて、第41回ローラーホッケー世界大会がルアンダ及びナミベ州で開催された。同大会では世界中から16ヶ国が集まり、スペインの優勝で幕を閉じた（準優勝：アルゼンチン、3位：ポルトガル。アンゴラは9位）。(JA)

・29日、アンゴラ代表女子バスケットボールチームは、モザンビークの首都マプトで行われた2013年アフリカ大会にて、決勝でモザンビークを破り優勝した。(JA)

(了)